

<p>(科目名) 森里海連環学実習 B (英訳) Exercises in Ecological Interactions between Forests and Coastal Areas B</p>	<p>(群) B群 (単位数) 2単位 (開講期) 前期集中 (週コマ数) 2コマ (授業形態) 実習 (対象回生) 全回生 (対象学生) 全学向 (曜時限) 集中</p>
<p>(所属部局)(職名)(氏名)</p> <p>フィールド科学教育研究センター 准教授 梅本 信也 フィールド科学教育研究センター 准教授 田川 正朋 フィールド科学教育研究センター 准教授 久保田 信 フィールド科学教育研究センター 講師 宮崎 勝己 フィールド科学教育研究センター 特定准教授 佐藤 真行 フィールド科学教育研究センター 助教 大和 茂之</p>	
<p>(授業の概要・目的)</p> <p>紀伊半島南部の古座川流域と河口沖に広がる串本湾岸域までの自然域と里域(里山、里地、里海、里川)を対象に、フィールド調査の理論と実践的手法を学び、現地観察や聞き取り、各域から得られる各種サンプルやデータとそれらの分析に基づいて、当該地域の連環の諸相(環境、生物、文化)について考究、地域保全と観光のあり方についても言及する。</p>	
<p>(授業計画と内容)</p> <p>日程: 2011年9月14日(水)~19日(月)</p> <p>1日目 ガイダンス、対象地域巡検、班形成と課題作成、ミニ講義 2日目 課題・地区別調査ならびに結果分析、検証、ミニ報告会、作戦会議 3日目 (続き) 4日目 (続き) 5日目 補足調査、報告書作成、発表会と総合考察 6日目 報告書提出、片付け、12時頃に解散</p> <p>(成績評価の方法・基準)</p> <p>授業への取り組み態度、共同生活態度、最終日に提出するレポート内容を総合的に勘案して評価する。</p> <p>(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))</p> <p>森林域から海域までの様々なフィールドでの実習を通して、その連環を体感する。様々な生業に従事する住民の方々や風土、文化、自然に親しめる。かならず傷害保険に加入しておくこと。食事は共同自炊、往復交通費は自己負担。</p> <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>	
<p>(分類) 生物学実習</p>	
<p>(履修要件)</p> <p>特になし</p>	
<p>(教科書)</p> <p>使用しない</p> <p>(参考書等)</p> <p>梅本信也(編著)『古座川合同調査報告集 第1~5巻(当日配布)』(京大紀伊大島実験所) 田中克『森里海連環学への道』(旬報社)</p>	
<p>(関連URL)</p> <p>http://www.fserc.kyoto-u.ac.jp/</p>	